

中一国語

方言と共通語

講師 .. 羽場 雅希

◆ 今日の授業で学ぶこと

- ・ 方言
- ・ 共通語

◆ 方言

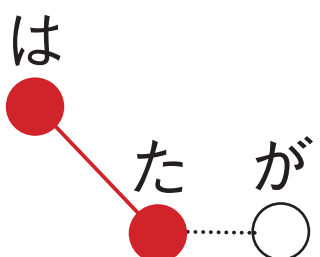
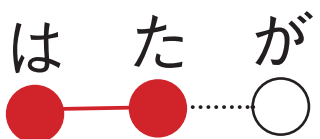
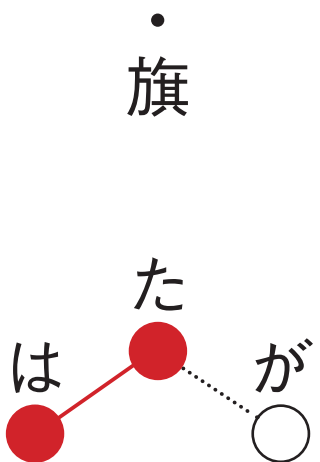
私たちが普段使っている言葉には、地域によつて、さまざまな違いがある。語句・表現、文法、発音などに、地域ごとの特色が現れた言葉を方言という。

● 方言による語句・表現の違い

- ・ せともの……からつもの・やきもの
- ・ 片づける……かたず・しまう・なおす
- のける・とろける

● 方言による文末表現の違い

- ・ 書かない……書かん・書かへん
- ・ 猫だ……猫や・猫じゃ



方言は、家族や地域の人との交流の中で自然と身につく言葉である。また、地域の風土や、生活に根ざした独特の表現も多い。このため、自分の感情や感覚を実感に即^{そく}した言葉で言い表せる。

◆ 共通語

異なる地域の人々が違いに方言で話すと、用件や考えが正確に伝わらないことがある。そのため、日本全国、どの地域の人に通用する言葉が必要になる。このような言葉を共通語という。

全国向けのテレビニュースや、不特定多数を対象とした文章には、共通語が使われることが多い。

【第一問】

（ ）に適切な言葉を書き入れなさい。

<p>① 方言</p>	<p>・語句・表現、文法、発音などに地域ごとの特色が表れた言葉。</p> <p>↓地域の風土や生活に根ざした表現が多く、自分の感情や感覚を実感に即して言い表せる。</p>
<p>② 共通語</p>	<p>・日本全国、どの地域にも通用する言葉。</p> <p>↓全国向けのニュースや、不特定多数を対象とした文章に使われることが多い。</p>

【第二問】

次の中から共通語を使った方がよい場合を二つ選び、記号で答えなさい。

ア、自分と異なる地域の人と話す場合。

イ、家族や親しい友人と話す場合。

ウ、日常的な場面で気軽な内容を話す場合。

エ、不特定多数を対象とした講演をおこなう場合

（ ア ） （ エ ）